



Drugs for Neglected Diseases *initiative*
顧みられない病気の医薬開発イニシアティブ

プレスリリース

2016年10月11日
特定非営利法人 DNDi Japan
(ディーエヌディーアイ ジャパン)

ケニア、ナイロビにて成功裡に閉幕した
TICAD6 ポストイベントの国際シンポジウム：
「感染症研究に根ざす日アフリカ科学技術イノベーション(STI)協力推進に向けて」
(主催：ケニア中央医学研究所-KEMRI、長崎大学) を DNDi は後援しました

一日アフリカ科学技術イノベーション協力のさらなる推進・展開に向けて
パン・アフリカネットワークの設立と研究者の育成に力を入れることで満場一致

Drugs for Neglected Diseases *initiative* (本部：スイス・ジュネーブ、最高責任者：ベルナール・ペクール Bernard Pécoul 医師、以下 DNDi) ならびに特定非営利活動法人 DNDi Japan (東京、理事長：山田陽城) は、ポスト TICAD6 イベントとして、ケニア・ナイロビで9月15日～9月16日に開催された国際シンポジウム「感染症研究に根ざす日アフリカ科学技術イノベーション(STI)協力推進に向けて」(主催：ケニア中央医学研究所-KEMRI、長崎大学) を後援しました。

<総勢 180 名の大規模シンポジウム>

ICREP-NTDs(International Collaboration Research Program for Tackling the NTDs Challenges in African Countries—アフリカにおける顧みられない熱帯病 NTDs-Neglected Tropical Diseases 対策のための国際共同研究プログラム) は、TICADVI において推進が謳われ、今後その成果が期待される“日アフリカ科学技術イノベーション(STI)協力”事業の一つです。8月に開催された TICADVI における討議内容を受けて、TICAD6 ポストイベントのシンポジウムでは、ICREP-NTDs がホスト役を務め、日本がアフリカにおいて展開している感染症関連の研究事業(STI-COPP Africa, SATREPS, J-GRID)* の紹介を行い、日アフリカ科学技術イノベーション協力のさらなる推進・展開に向けて、国際的枠組みにおける日本とアフリカの取り組みを議論しました。日本のアカデミアを中心とした約 20 名の研究者ならびに開催地ケニアからは約 120 名の研究者が参加し、さらにアフリカ諸国 24 カ国より 40 名を越える保健省関係者が参加し総勢約 180 名にもおよぶ日アフリカ初の大規模合同シンポジウムとなりました。

<日本のアカデミアとのコラボレーションに期待>

また、二日目のセッション 3 において、DNDi Africa の責任者であるディレクターのモ



Drugs for Neglected Diseases *initiative*
顧みられない病気の医薬開発イニシアティブ

ニーク・ワスンナ(Dr. Monique Wasunna)がアフリカにおける DNDi の活動を中心に「顧みられない病気と闘う：アフリカにおける研究活動とコラボレーション Fighting Neglected Diseases: Research & Collaborations for Africa」と題して基調講演を行い、各国の参加者より多大な賛辞が寄せられました。エーザイ株式会社グローバルヘルス研究室室長の畑桂(はた かつら)氏が製薬企業の取り組みを紹介しました。また、AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)プログラムオフィサーの西垣隆(にしがき たかし)氏とともに DNDi Japan サイエнтиフィックリエゾンの工月達郎(くづき たつろう)がセッションのモデレータを努めると同時に、DNDi の研究開発プロジェクトの進め方を説明し、「DNDi は常にプロジェクトパートナーを求めており、今後日本のアカデミアとのコラボレーションを待ち望んでいる」と締めくくりました。

<マイセトーマ(Mysetoma: 菌腫)プロジェクトへの言及>

エーザイ(株)の畑氏は自社のアフリカにおける取組みの紹介の中で、DNDi と協力して近々スーダンで臨床試験が始まる重篤な感染症であるマイセトーマ(Mysetoma: 菌腫)プロジェクトについても触れました。マイセトーマは今年5月に WHO の「顧みられない熱帯病(NTDs)」の公式リストにも追加されました。「マイセトーマの患者さんは、顧みられない患者さんの中にあって最も顧みられていません。貧しく、偏見にさらされ、ほとんどの患者さんが遠隔地や農村部に住んでいます」とアーメド・ファハル(Ahmed Fahal) 医師—ハルツーム大学(スーダン)の外科の教授でありマイセトーマ・リサーチ・センター(Mysetoma Research Centre-MRC)のディレクターは付け加えました。

*)

- STI-COPP Africa: Science, Technology and Innovation(STI) Cooperation Promotion Program in Africa (Program for Integrated Promotion of Social System Reform and Research and Development)医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(社会システム改革と研究開発の一体的推進を行う健康・医療関連プログラム)
- SATREPS: Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)
- J-GRID: Japan Initiative for Global Research Network on Infectious Diseases(感染症研究国際展開戦略プログラム)

以上

【Drugs for Neglected Diseases *initiative*, DNDi : 顧みられない病気の医薬開発イニシアティブについて】

1990年代後半、発展途上国の現場で医療活動に従事していた「国境なき医師団」のチームは、顧みられない病気に苦しむ患者さんを治療できないことに苛立ちを募らせていました。患者さんの治療に使う医薬品の効果がなかったり、強い副作用があったり、あるいは製造中止になっていたりなど様々な問題があったからです。そこで「国境なき医師団」は、1999年に受賞したノーベル平和賞の賞金の一部を、患者のニーズを重視



Drugs for Neglected Diseases *initiative*
顧みられない病気の医薬開発イニシアティブ

した、顧みられない病気の治療薬の研究開発(R&D)に取り組む革新的な組織の設立に充て、2003年7月、スイス・ジュネーブに本部を置く非営利財団としてDNDiを正式に発足させました。DNDiはヨーロッパを中心とした多くの政府機関および私設財団から資金援助を受けて活動しています。2013年度からは日本政府も参画する公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund)による資金援助も受けています。また、WHOの熱帯病医学特別研究訓練プログラム(WHO-TDR)が常任オブザーバーとして参加しています。

www.dndi.org/

【DNDi Japan について】

DNDi Japan は、2003年に日本の活動を開始し、2009年に特定非営利活動法人として東京都の認証を受けました。顧みられない熱帯病(NTDs)に苦しむ途上国の人々を援助するために日本の窓口として、DNDi本部のプロジェクトを支援し日本国内外の協力先と協働して、NTDsの治療薬開発、それに関連する能力開発、ならびに啓発活動など、発展途上国の人々の保健医療、福利厚生に貢献することを目的とした活動を行っています。

www.dndi.japan.org/

お問い合わせ : DNDi Japan 広報担当 松本眞理 (mmatsumoto@dndi.org/ TEL03-4550-1195)

DNDi

Drugs for Neglected Diseases *initiative*
顧みられない病気の医薬開発イニシアティブ

主催：ケニア中央医学研究所(KEMRI)、長崎大学

共催：北海道大学、東京慈恵会医科大学

後援：ケニア保健省、文部科学省、AMED、DNDi、JSPS



The poster features a background image of a sunset over a body of water with silhouettes of people in a boat. At the top, there is a row of logos including the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), the Kenyan coat of arms, AMED, DNDi, and several universities. The main text is centered and reads: 'TICAD 6 Post-Event', 'ICREP-NTDs', 'International Collaborative Research Program for Tackling the NTDs (Neglected Tropical Diseases) Challenges in African Countries', 'International Joint Symposium', 'Promotion of Infectious Disease Research Cooperation between Africa and Japan toward Science, Technology and Innovation (STI)', and 'September 15-16, 2016'. On the bottom left, it lists the host organization (Kenya Medical Research Institute and Nagasaki University), co-host organization (Hokkaido University and Jikei University School of Medicine), and supporting organizations (Ministry of Health, Kenya, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), Japan, The Japan Agency for Medical Research and Development (AMED), Drugs for Neglected Diseases initiative, Japan Society for the Promotion of Science (JSPS)). On the bottom right, it specifies the venue as Weston Hotel, Langata Rd., Nairobi, Kenya.

SATREPS

 i-GRID
Initiative for Global Research and Innovation Development

SCIENCE, TECHNOLOGY AND INNOVATION (STI) COOPERATION PROMOTION PROGRAM IN AFRICA
STI-COPP AFRICA

ICREP-NTDs
International Collaborative Research Program for Tackling the NTDs (Neglected Tropical Diseases) Challenges in African Countries

TICAD
MARRAKESH 2016
